



# 飯田高校便り (校長版)

令和4年7月29日

【第5号】

## 2022 夏に考える①～中学生体験入学～

7月23日(土)、コロナ感染防止対策を万全に取りながら、「中学生体験入学」を実施しました。飯田・下伊那、上伊那の23の中学校から、昨年度より約80名多い500名あまりの参加があり、14講座に分かれての模擬授業や学校からの説明、生徒自治会によるキャンパスライフの紹介、理数科説明会、班(部)活動見学等を行い、本校の学校生活の一端に触れてもらいました。私からは、4月から本校で学んでいる自分の姿を想像しながら、参加してほしいと話をしました。55分間の模擬授業は本校の教員が普段の授業モード?で、また生徒自治会の説明は温かな生徒目線でそれぞれ行いました。実施後の感想を一部紹介すると…



- 模擬授業では、興味深いテーマをわかりやすく説明してくれ、飯田高校での授業の一端に触れることができとても有意義だった。
  - 生徒自治会の説明は、勉強だけでなく、主体性を大切にしていることがよく分かった。
  - 様々な班活動が活発に行われている様子がよく分かった。
  - 理数科の説明を聞き、入学して勉強したいという思いが強くなった。
- 今回の貴重な体験入学を今後の進路選択に活かしてもらえればと思います。



## 2022 夏に考える②～飯田市議会とのタウンミーティング～

7月26日(火)、若者の声を飯田市議会の運営に活かしたいということで、本校生徒自治会役員と飯田市議会議員の方々による「タウンミーティング in 飯田高校」が開催されました。

市議会の役割や本校生徒の意識調査の説明のあと、3グループに分かれての意見交換会を行い、生徒からは、「長野県が高等教育の面で南北格差が大きい。是非、信州大学の新学部を誘致してもらいたいし、自分たちも協力したい」「地域の事をあまりにも知らないということに気づかされた」などの意見が出されました。市議の方からは「若者の率直な考えを聞きことができとても新鮮で、良かった」「出された貴重な意見を精査して今後の議会活動に活かしていきたい」等の話がありました。これからの学びの在り方は、生徒が自ら課題を見つけ、様々な人と協働しながら主体的に課題解決に取り組むことが非常に重要となってきます。そんな点からも、今後とも生徒も学びのモチベーションを高めるために、地域の様々な方々との連携を深めていければと思います。

